

67 番の歌 「神の言葉を広めなさい」

愛を力にして良い知らせを伝える

「全ての国の人々の間で、**良い知らせがまず伝えられなければなりません**」。[マルコ 13:10](#)

ポイント：**愛は自分の全てを尽くして熱心に伝道する力**になります。**どうして**そういえますか。

1. 2023 年の年次総会ではどんなことが知らされましたか。

2023 年の年次総会で、私たちは幾つかの**理解の調整**や**宣教**に関する**発表**を聞いて胸が躍りました。***年次総会**は、2023 年 10 月 7 日に米国ニューヨーク州ニューバーグにあるエホバの証人の大会ホールで開かれました。プログラム全体は、2023 年 11 月と 2024 年 1 月の JW Broadcasting®で見ることができます。例えば、大いなる**バビロンが滅ぼされた後**にもエホバに仕えるようになる人がいるかもしれない、と説明されました。また、**2023 年 11 月以降**、伝道者は自分が行った宣教について詳しく報告をする必要はないことが知らされました。このような変更があったということは、私たちが**宣教の手を緩めてもいい**ということでしょうか。**もちろんそうでは**ありません。

2. **伝道することが日に日に重要**になっているのはどうしてですか。（[マルコ 13:10](#)）

2 **伝道**することは**日に日に重要**になっています。**残された時は少なくなっている**からです。イエスは、終わりの時代の伝道活動についてどんなことを予告したのでしょうか。（[マルコ 13:10](#) また、全ての国の人々の間で、良い知らせがまず伝えられなければなりませんを読む。）**マタイの並行記述**によると、イエスは、**良い知らせが世界中で伝えられた後に「終わり」が来る**と言いました。（[マタ 24:14](#) そして、王国の良い知らせは、全ての国の人々が聞けるように世界中で伝えられます。それから終わりが来ます）これは**サタンの邪悪な体制が完全に終わる時**のことを指しています。エホバはこうしたことが起きる「**日と時刻**」を**決めて**います。（[マタ 24:36](#) その日と時刻については誰も知りません。天使たちも子も知らず、父だけが知っています。[:25:13](#) ですから、ずっと見張っていなさい。あなたたちは、その日も時刻も知らないからです。[使徒 1:7](#) イエスは言った。「天の父の権限で定められた時や時期について、あなたたちが知る必要はありません）**1 日ごとにその日は近**づいているのです。（[ロマ 13:11](#) また、皆さんは今がどんな時かを知っているのですから、こうしたことを行ってください。すでに、眠りから覚めるべき時が来ています。今や、私たちが信仰を持つようになった時よりも、救いは近いのです）**終わりが来るまでの間、私たちは伝道し続ける必要**があります。

3. 伝道を行う動機は何ですか。

3 私たち一人一人は**宣教**について**次の点**を**真剣に**考えたいと思います。**良い知らせを伝える動機**は何かということです。**一言**で言えば、それは**愛**です。私たちは**伝道する時、愛を表すこと**にな

ります。良い知らせに対する愛、人々への愛、そして何よりもエホバとエホバの名前に対する愛です。こうした点を1つずつ考えてみましょう。

良い知らせに対する愛

4. 良いニュースを聞くとどんな気持ちになりますか。

4 あなたはこれまで何かの良いニュースを聞いて感激したことがありますか。例えば、家族に赤ちゃんが生まれたとか、念願の仕事が決まったなどと聞いた時です。その知らせを家族や友人に早く知らせたいと思ったことでしょう。王国の良い知らせというこの上なく素晴らしいニュースを聞いた時も、同じように感じたのではないのでしょうか。

5. 聖書の真理を初めて聞いた時、どんな気持ちになりましたか。（写真も参照。）

5 聖書の真理を初めて聞いた時にどんな気持ちになったか思い出してください。例えば、①天のお父さんエホバがあなたを愛していて、家族に迎え入れたいと思っていることを知りました。また、②エホバが苦しみを終わらせてくださるという約束や、③亡くなった愛する人たちと新しい世界でまた会えるという希望についても学びました。（マル 10:29, 30 イエスは言った。「はっきり言いますが、私のため、また良い知らせのために、家、兄弟、姉妹、母親、父親、子供、あるいは畑に別れを告げた人は皆、30 今この時期に(*現在)百倍を、家、兄弟、姉妹、母親、子供、畑を迫害と共に得て、新しい体制で永遠の命を得ます。ヨハ 5:28, 29 このことに驚いてはなりません。記念の墓の中にいる人が皆、彼の声を聞いて出てくる時が来るのです。29 良いことをした人は命の復活へ、悪いことを行った人は裁きの復活へと出てきます。ロマ 8:38, 39 私は確信しています。死も、生も、天使も、政府も、今あるものも、これから来るものも、力も、高さも、深さも、ほかのどんな創造物も、主であるキリスト・イエスを通して示される神の愛から私たちを引き離すことはできません。啓 21:3, 4 その時、王座から大きな声がした。「見なさい！ 神の天幕が人々と共にあり、神は人々と共に住み、人々は神の民となります。神が人々と共にいるようになるのです。4 神は人々の目から全ての涙を拭い去ります。もはや死はなくなり、悲しみも嘆きも苦痛もなくなります。以前のものは過ぎ去ったのです」）こうした真理を聞いて心が温かくなったことでしょう。（ルカ 24:32 人は互いに言った。「あの方が道中、話してくれた時、聖書をはっきり説明してくれた時、私たちの心は燃えていたではないか」）学んだことを愛するようになり、貴重な真理を他の人に伝えずにはいられなくなったはずです。（エレミヤ 20:9 それで私は言いました。「この方について話さないことにしよう。もうこの方の名によって語ることはしない」と。ですが、神の言葉は私の心の中で燃える火、骨の中に閉じ込められた火のようになりました。私はそれを抑えるのに疲れ、もう耐えられなくなりましたと比較。）



良い知らせを初めて聞いた時、それをぜひみんなに伝えたいと思ったのではないのでしょうか。（5 節を参照。）

6. アーネスト兄弟とローザ姉妹の例からどんなことが学べますか。

6 **アーネスト**の例を考えてみましょう。[* 「ものみの塔」2015年2月1日号の「聖書は人の生き方を変える聖書の明快で論理的な答えに感動しました」という記事を参照。](#)アーネストは**10歳の頃に父親を亡く**しました。こう言っています。「『**天に行ったの**だろうか、それとも**永遠にいなくなった**のだろうか』と考えたものです。**父親のいる子どもたちがうらやましく**思えました」。毎日のように**墓地に通い**、父親の墓の前にひざまずき、「**神様**、どうか教えてください。**パパはどこに**いるのでしょうか」と祈りました。**父親が亡くなって17年**がたった頃、アーネストは**聖書レッスン**を勧められ、**すぐに受け入**れました。そして、**死んだ人は深く眠っているかのように何の意識もない**ことや、**復活の希望**があることについて知り、**感激**しました。（[伝 9:5](#) 生きている人は自分が死ぬことを知って(*意識している。しかし、**死んだ人は何も知らない**。何か(*報酬)を得ることもない。思い出されず、忘れ去られる。[10](#) あなたにできることは何でも、力を尽くして行いなさい。あなたの行く場所、つまり**墓(c*へ語シェオル)**では、働くことも考えることも学ぶことも理解することもできないからだ。[使徒 24:15](#) また、私はこの方たちと同じ希望を持っております。神が正しい人も正しくない人も復活させてくださるという希望です) **ずっと疑問に思っていたことの答え**をついに**見つける**ことができたのです。妻の**ローザ**も**聖書を学び始め**、**王国のメッセージを愛するよう**になりました。2人は**1978年にバプテスマ**を受けました。そして、学んだことを友人や家族を含め多くの人に熱心に伝えました。その結果、**70人以上の人がバプテスマ**を受けました。

7. 聖書の**真理を心から愛する**ようになると、**どうしたくなりますか**。（[ルカ 6:45](#)）

7 聖書の**真理を心から愛する**ようになると、**みんなに伝えたくなる**ものです。（[ルカ 6:45](#) **善い人は、心に蓄えている善いものの中から善いものを取り出し、** 邪悪な人は、蓄えている邪悪なものの中から邪悪なものを取り出します。心に**満ちあふれているものが口から出るのです**を読む。）**1世紀のイエスの弟子たちは**、「**見聞きしたことについて話すのをやめるわけにはいきません**」と言いました。（[使徒 4:20](#) **しかし、私たちとしては、見聞きしたことについて話すのをやめるわけにはいきません**）私たちも同じ気持ちです。**真理をととても愛している**ので、**できるだけ多くの人に伝えたい**と思います。

人々に対する愛

8. **どんなことを考えると、良い知らせを伝えたい**と思うようになりますか。（「[愛を込めて弟子を育てる](#)」という囲みを参照。）
(写真も参照。)

8 私たちは、**エホバやイエスと同じように人々を愛して**います。（[格 8:31](#) **人が住むための地球を見て喜び、人間に深い愛情を抱いた。**[ヨハ 3:16](#) **神は、自分の独り子を与えるほどに人類を愛したのです。そのようにして、独り子に信仰を抱く人が皆、滅ぼされないで永遠の命を受けられるようにしました**）「**希望もなく、神を知らずに**」**生活している人たちのことを考え**ると、**胸が痛み**ます。（[エフェ 2:12](#) **その頃、皆さんはキリストを知らず、イスラエル国民とは無縁で、約束に関わる契約とは無関係でした。希望もなく、神を知らずに世の中で生活していました**）**多くの人はいろいろな問題を抱え、抜け出せない深い穴の中にいるように感じ**ているかもしれません。でも、私たちは**王国の良い知らせというロープを使**って、その人たちをそこから**引き上げる**ことができます。**人々への愛や思いやり**があるなら、**良い知らせを伝**えるた

めにできる限りのことをしたい」と思います。私たちが伝えるメッセージを聞く人たちは希望を持つことができます。そして、今幸せな生活を送るだけでなく、将来「真の命」を得て新しい世界で永遠に生きる



（[テモー 6:19](#) そうすれば彼らは、いわば宝を蓄え、将来のための良い土台を築いて、真の命をしっかりと捉えることができるでしょう）

人々への愛や思いやりがあるなら、良い知らせを伝えるためにできる限りのことをしたいという気持ちになる。（8 節を参照。）

「愛を込めて弟子を育てる」

この新しい冊子は、愛を込めて伝道し、キリストの弟子になるよう人々を助けるために欠かせない 12 のポイントを取り上げています。各レッスンで、自分が何を話すかではなく相手がどんなことに興味があるかに注目する大切さを学べます。こう考えてみましょう。「相手はどんなことを考えているだろう。何を必要としているだろうか」。冊子の紹介部分にはこう書かれています。「人の心を動かしてキリストの弟子になるよう助けるには、宣教のどんなスキルより愛が一番大切

9. 私たちは、これから起きるどんなことについて警告していますか。どうしてですか。（[エゼキエル 33:7, 8](#)）

9 さらに、人々を愛しているなら、間もなく悪い世界が終わることについて警告せずにはいられなくなります。（[エゼキエル 33:7, 8](#) 人の子よ、私はあなたをイスラエル国民の見張りに任命した。あなたは私の口から出る言葉を聞いたら、私からの警告を彼らに伝えなければならない。8 私が悪い人に、『あなたは悪いことをしているので必ず死ぬ』と言うのに、あなたがその人にはっきり警告せず、生き方を変えるよう諭さないなら、その人は自分の過ちのために悪人として死ぬことになるが、私はその人の死の責任をあなたに問う(*その人の血の代価をあなたに求める)を読む。) 自分の家族を含め、エホバに仕えていない人たちを助けたいと思います。多くの人たちは、これから起きることを知らずに生きています。間もなく、「世界の始めから今まで起きたことがなく.....二度と起きないような大患難」があります。（[マタ 24:21](#) その時、世界の始めから今まで起きたことがなく、いえ、二度と起きないような大患難があるからです）裁きの時に、間違った宗教が滅ぼされ、ハルマゲドンで邪悪な体制全体が終わりを迎えます。（[啓 16:14](#) それらは邪悪な天使たちの息(*言葉/c ギ語プネウマ)であって、奇跡(d*しるし)を行い、全世界の王たちのもとに向かう。全能の神の大いなる日の戦争に王たちを招集するためである、[16](#) それらの息(*言葉/c ギ語プネウマ)により、王たちはヘブライ語でハルマゲドン(*アルマゲドン/c メギドの山という意味)と呼ばれる場所に集められた;[17:16, 17](#) そして、あなたが見た 10 本の角と野獣は、娼婦を憎み、破滅させて裸にし、彼女の肉を食い尽くし、彼女を火で焼き尽く

します。17 神が、ご自分の考えを彼ら(c*10 人の王のこと)の心に入れて実行させたからです。神の言葉が成し遂げられるまで、彼らが自分たちの王国を野獣に与えて、自分たちの 1 つの考えを実行するようにしたのです。[: 19:11](#) 私が見ていると、天が開かれ、白い馬が現れた。それに乗っている者は、忠実で真実な方と呼ばれ、正しく裁き、正義のために戦う。[, 19, 20](#) さらに見ると、野獣と地上の王たちとその軍勢が、馬に乗っている方とその軍勢に対して戦うために集まっていた。20 そして、野獣は捕らわれ、野獣の前で奇跡(d*しるし)を行った偽預言者も捕らわれた。偽預言者は、野獣の印を受けた者たちと野獣の像を崇拝する者たちを、奇跡(d*しるし)によって惑わしていたのである。野獣も偽預言者も生きたまま、硫黄が燃える火の湖に投げ込まれた) 私たちは、できるだけ多くの人があることを知って警告に従い、エホバの崇拝に加わることを願っています。では、私たちの家族を含め、今警告を聞こうとしない人たちはどうなるのでしょうか。

10. これから起きることについて今警告することはどうして重要ですか。

10 前の記事で説明された通り、エホバは、大いなるバビロンが滅びる様子を見てエホバに信仰を持つようになる人々を救うかもしれません。そうであれば、もうすぐ起きることについて人々に警告し続けることはますます重要になるといえます。どうしてですか。私たちが今伝えていることを将来人々が思い出すかもしれないからです。(エゼキエル 33:33 その言葉は必ず実現する。それが実現する時、彼らは自分たちの中に預言者がいたことを知らなければならなくなる)と比較。) 警告の内容を思い出し、手遅れになる前に私たちと一緒にエホバに仕えたいと思うようになるかもしれません。フィリピの牢番は、「大きな地震が起きた後、信仰を持つようになりました。同じように、今は反応がない人であっても、大いなるバビロンの滅びという世界を揺るがす出来事を見て、信仰を持つようになるかもしれません。(使徒 16:25-34 しかし、真夜中ごろ、パウロとシラスは祈ったり歌で神を賛美したりしていて、囚人たちはそれを聞いていた。26 突然、大きな地震が起きて、牢屋が土台から揺れた。その上、全ての戸が直ちに開き、皆の鎖やかさが外れた。27 牢番は目を覚まして牢屋の戸が開いているのを見ると、囚人たちが逃げってしまったものと思い、剣を抜いて自殺しようとした。28 しかしパウロは大声で、「やめなさい。皆ここにいます!」と叫んだ。29 牢番は明かりを持ってこさせてから、中に駆け込み、震えながらパウロとシラスの前にひれ伏した。30 そして、2 人を外に連れ出し、こう言った。「先生方、救われるには何をしなければなりませんか」。31 2 人は言った。「主イエスを信じなさい。そうすれば救われます。あなたも、あなたの家の人たちも」。32 その後、牢番とその家の全てのの人にエホバの言葉を語った。33 牢番は、その夜に 2 人を連れていって傷の手当てをした。そして、家の人全員と共にすぐにバプテスマを受けた。34 それから 2 人を家に連れてきて、食卓を整え、自分が神を信じるようになったことを家の人全員と共に大変喜んだ)

エホバとエホバの名前に対する愛

11. エホバはどのように栄光と栄誉と力を受けますか。(啓示 4:11) (写真も参照。)

11 私たちが良い知らせを伝える一番の理由は、エホバとその神聖な名前を愛しているからです。私たちは伝道することによって、大好きなエホバを賛美したいと思います。(啓示 4:11 私たちの神エホバ(*), あなたは栄光と栄誉と力を受けるのにふさわしい方です。あなたが全てのものを創造されたからです。全てのものは、あなたのご意志によって存在するようになり、創造されましたを読む。) そして、「私たちの神エホバ、あなたは栄光と栄誉と力を受けるのにふさわしい方です」という言葉に心から同意しています。エホバが「全てのものを創造された」証拠や、私たちがエホバのおかげで存在している

ことについてみんなに伝える時、エホバの栄光と榮譽をたたえることができます。また、自分の時間や体力や持っている物をできる限り伝道のために使うなら、自分の力をエホバに捧げていることになります。（マタ 6:33 ですから、王国と神から見て正しいことをいつも第一にしましょう。そうすれば、こうしたほかのもの全ても、あなたたちに与えられます。ルカ 13:24 狭い戸口を通して入るため、精力的に励みなさい。あなた方に言いますが、入ろうとしても入れない人が多いからです。コロ 3:23 何をしていても、人のためではなくエホバ(*)のためにするように、自分の全てを尽くして行いましょう）私たちはエホバのことが大好きなので、エホバについてみんなに話します。さらに、エホバの名前とその意味についてみんなに伝えたいとも思っています。どうしてでしょうか。



自分の時間や体力や持っているものをできる限り伝道のために使うなら、自分の力をエホバに捧げていることになる。

(11 節を参照。)

12. 伝道する時、どのようにエホバの名前を神聖なものとすることができますか。

12 私たちはエホバを愛しているので、エホバの名前が神聖なものとしてされることを心から願っています。（マタ 6:9 それで、このように祈らなければなりません。『天におられる私たちの父よ、お名前が神聖なものとされますように』）私たちは、サタンがエホバについて悪意のあるうそを広めていることをみんなに知ってほしいと思っています。（創 3:1-5 さて、エホバ神が造った野生動物の中で蛇が最も用心深かった(*利口だった)。蛇が女に言った。「あなたたちは庭園の全ての木の実を食べてはならない、と神が言ったのは本当ですか」。2 女は蛇に言った。「私たちは庭園の木の実を食べてよいのです。3 でも、庭園の真ん中にある木の実について、神は、『食べてはならない。触れてもならない。食べたり触れたりするなら死ぬ』と言いました」。4 蛇は女に言った。「あなたたちは決して死にません。5 その木の実を食べた日に、目が開かれ、あなたたちが神のようになって善悪を知るようになることを神は知っているのです」。ヨブ 2:4 サタンはエホバに答えた。「誰でも自分の身が一番(d*皮膚のためには皮膚)です。人は自分の命を守るために、自分が持つもの全てを差し出します。ヨハ 8:44 あなた方は、あなた方の父、悪魔から出ていて、自分たちの父が欲することを行おうとしています。その者はその始まりから人殺しで、真理から離れました。真理を好まないからです。彼にとって、うそを語るのは自然なことです。うそつきで、うその根源(d*父)だからです）それで、伝道する時にはエホバについて熱意を込めて話します。エホバが愛にあふれた方であることや、エホバの統治が正しくて公平なこと、また、神の王国によって全ての苦しみがなくなり、人間が平和で幸せに暮らせるようになることなどです。（詩 37:10, 11 ほんのもう少しすれば悪人はいなくなる。彼らがいた場所を見ても、もういない。11 しかし、温厚な人は地上に住み続け(*地球が与えられ)、豊かな平和をこの上なく喜ぶ、29 正しい人は地上に住み続け(*地球が与えられ)、そこで永遠に暮らす。ヨハ 4:8 愛さない人は、神をよく知りません。神は愛だからです）こう

した点を伝える時、エホバの名前を神聖なものとすることができます。また、エホバの証人という名前にふさわしく行動できているという満足感を持つこともできます。 どうしてですか。

13. エホバの証人と呼ばれることを誇りに思うのはどうしてですか。 (イザヤ 43:10-12)

13 エホバは私たちのことを「証人」と呼んでいます。 (イザヤ 43:10-12 エホバはこう宣言する。「あなたたちは私の証人である。私に仕える者であり、私が選んだのである。あなたたちが私を知り、私に信仰を持ち(*私を信頼し)、私が変わらないことを理解するために。私の前に存在するようになった(d*形作られた)神はおらず、私の後にもいない。11 私、この私がエホバであり、ほかに救い主はいない」。12 エホバはこう宣言する。「あなたたちの中にほかの神がいなかった時に、私こそが、救うと告げ、実際に救い、そのことを知らせた。それで、あなたたちは私の証人であり、私は神であるを読む。)

以前、統治体からの手紙に次のように書かれていました。「人が持つことのできる最大の誉れは、エホバの証人の一人とみなされることなのです」。[*「2007 エホバの証人の年鑑」3 ページを参照。](#) どうしてそういえるのか、例えで考えてみましょう。あなたが何かのことで訴えられているとします。その訴えがうそであることを証明するために、どんな人を証人として選びたいと思いますか。きっと、あなたがよく知っていて、信頼でき、評判が良い人を選びたいと思うことでしょう。そのような人の証言は信用されます。エホバは私たちを証人として選んでくださいました。エホバは私たちのことをよく知っていて、エホバだけが本当の神であると私たちが証言できることを確信してくださっています。私たちは証人としてエホバについて語れることを光栄に思います。それで、機会がある時はいつでもエホバの名前を知らせ、エホバについて悪く言われていることが真実ではないということを伝えるようにします。そのようにして、エホバの証人という名前の通りに行動していることを示すことができます。(詩 83:18 人々があなたのことを知りますように。エホバという名を持つあなただけが、地球全体を治める至高者であるということ。ローマ 10:13-15 「エホバの名を呼ぶ人は皆救われる」のです。14 しかし、信仰を持っていなければ、どうして呼び掛けられるでしょうか。また、聞いたことがなければ、どうして信仰を持てるでしょうか。また、伝道する人がいなければ、どうして聞けるでしょうか。15 また、遣わされたのでなければ、どうして伝道できるでしょうか。書かれている通り、「良い事柄についての良い知らせを広める者たちの足は何と美しいのでしょうか！」)

終わりが来るまで伝道を続ける

14. どんな素晴らしいことが将来起きるかもしれませんか。

14 近い将来に起きる事柄について考えると、わくわくします。大患難が始まるまでにエホバの助けによってさらに多くの人々が真理を受け入れる様子をぜひ見たいと思います。また、人間の歴史の中で一番暗い時期といえる大患難の間でさえ、サタンの側から離れてエホバに仕えるようになる人たちがいるかもしれないのです。本当に素晴らしいことではないでしょうか。(使徒 13:48 異国の人々はこれを聞いて喜び、エホバの言葉を賛美するようになった。そして、永遠の命を得るための正しい態度を持つ人は皆、信者となった)

15-16. これからもどんなことを行い続けますか。いつまでそうしますか。

15 それまでの間、私たちにはすべきことがあります。神の王国の良い知らせを世界中に伝える仕事です。これは二度と繰り返されることはありません。また、私たちはこれから起きることについて警告し続ける必要があります。この邪悪な体制の終わりがどんどん近づいていることを人々は知る必要があります。その終わりが来る時、私たちが伝えていたメッセージがエホバから来ていたことを全ての人が知ることになります。（エゼ 38:23 私は必ず自分があがめられるようにし、自分を神聖なものとし、多くの国の人々の目の前で自分について知らせる。彼らは私がエホバであることを知らなければならなくなる）

16 では、私たちはどんなことを決意していますか。愛を力にして伝道することです。それは、良い知らせに対する愛、人々への愛、そして何よりもエホバとエホバの名前に対する愛です。終わりが近いことを意識しつつ、エホバが「伝道活動はこれで終わりです！」という時まで熱い心で伝道し続けましょう。

愛は伝道する上でどのように力になりますか

1. 良い知らせに対する愛

・S04 何かの良いニュースを聞いて感激した時と同じように、王国の良い知らせというこの上なく素晴らしいニュースを聞いた時も、その知らせを家族や友人に早く知らせたいと感じた。

・S05 例えば、①天のお父さんエホバがあなたを愛して家族に迎え入れたいと思っていることを知り、②エホバが苦しみを終わらせてくださるという約束や、③亡くなった愛する人たちと新しい世界でまた会えるという希望についても学んだ。真理を聞いて心が温かくなり、貴重な真理を他の人に伝えずにはいられなくなった

・S06 1世紀のイエスの弟子たちは「見聞きしたことについて話すのをやめるわけにはいきません」と言ったように、私たちも真理をととても愛しているので、できるだけ多くの人に伝えたいと思う

2. 人々に対する愛

・S08 私たちは、エホバやイエスと同じように人々を愛しているので、「希望もなく、神を知らずに」生活している人たちのことを考えると、胸が痛む。良い知らせを聞く人たちは、希望を持ち、今幸せな生活を送るだけでなく、将来「真の命」を得て新しい世界で永遠に生きることができるので、良い知らせを伝えるためにできる限りのことをしたい。宣教のどんなスキルより一番大切な愛によって、人の心を動かしてキリストの弟子になるよう助けていきたい。

・S09 人々を愛しているなら、間もなく悪い世界が終わることについて警告せずにはいられなくなる。間もなく「世界の始めから今まで起きたことがなく……二度と起きないような大患難」がある。自分の家族を含め、多くの人たちは、これから起きることを知らずに生きているが、それらの自分の家族を含めたエホバに仕えていない人たちを助けたいと思っている。

・S10 私たちが今伝えていることを将来人々が思い出し、私たちと一緒にエホバに仕えたいと思うようになるかもしれないので、もうすぐ起きることについて人々に警告し続けることはますます重要になっている。

3. エホバとエホバの名前に対する愛

・S11 私たちが良い知らせを伝える一番の理由は、エホバとその神聖な名前を愛しているため。エホバが「全てのものを創造された」証拠や、私たちがエホバのおかげで存在していることについてみんなに伝える時、エホバの栄光と栄誉をたたえることができる。また、自分の時間や体力や持っている物をできる限り伝道のために使うなら、自分の力をエホバに捧げていることになる。

・S12 私たちはエホバを愛しているので、サタンがエホバについて悪意のあるうそを広めていることをみんなに知ってもらい、エホバの名前が神聖なものとされることを心から願っている。エホバについて熱意を込めて話し、エホバが愛にあふれた方であることや、エホバの統治が正しくて公平なこと、また、神の王国によって全ての苦しみがなくなり、人間が平和で幸せに暮らせるようになることを伝える時、エホバの名前を神聖なものとすることができる。

・S13 エホバは私たちのことを「証人」と呼んで、信頼し、エホバだけが本当の神であると私たちが証言できることを確信してくださっている。エホバの証人の一人とみなされることは、人が持つことのできる最大の誉れで、満足感も持てる。

54 番の歌 「これが道である」

△ 年次総会は、2023 年 10 月 7 日に米国ニューヨーク州ニューバーグにあるエホバの証人の大会ホールで開かれました。プログラム全体は、2023 年 11 月と 2024 年 1 月の JW Broadcasting®で見ることができます。

△ 「ものみの塔」2015 年 2 月 1 日号の「[聖書は人の生き方を変える 聖書の明快で論理的な答えに感動しました](#)」という記事を参照。

△ [「2007 エホバの証人の年鑑」3 ページ](#)を参照。

△ [\(マル 13:10\)](#) また、全ての国の人々の間で、良い知らせがまず伝えられなければなりません。

△ [\(マル 13:10\)](#) また、全ての国の人々の間で、良い知らせがまず伝えられなければなりません。

△ [\(マル 13:10\)](#) また、全ての国の人々の間で、良い知らせがまず伝えられなければなりません。
。

△ [\(マタ 24:14\)](#) そして、王国の良い知らせは、全ての国の人々が聞けるように世界中で伝えられます。それから終わりが来ます。